

19歳 青春まっしぐら



今回は、坂田の石橋幸枝さんの登場です。家族と仕事をしておいでください。

両親と兄、そして私の四大家族です。私は千葉のデパートに勤めています。

千葉までの通勤は大変じゃないんですか？

そうですね。朝は七時半の列車です。朝は七時

もないですが、帰りが八時ぐらいになるので……

と話す石橋さん。高校のときには剣道部に籍を

置いていたという女流剣士。いつもたやさぬ笑顔

からは想像もつかない。

また、歌謡曲が好きで郷ひろ

みの大ファンだという石橋さ

ん。

休みの日は、好きなレコードを聴いたり、家の手伝いをして

りしています。

これからしてみたいことや

将来の希望などは？

テニスと水泳をしたいです

ね。それからすぐにというわ

けではないんですが、車を買

って日光へドライブ、また沖

縄へ旅行もしてみたいです

ね。最後に、結婚の予定は？

聞くと「二十三歳ぐらいまで

に、サラリーマンの家に行き

たい」と話してくれました。若さ

あふれる十九歳。青春まっしぐら

ん。

行ってみたい沖縄

石橋幸枝さん(坂田)

会長である鈴木武雄さんが、毎月開いてみては……と提案、それ以後、毎月二十日ごろに開かれるようになりま

月に一度のお誕生会

誕生日を迎えた方をお祝いして、今日まで無事に暮らしてこられたことを感謝するとも

毎日を送れるようにと、中台の老人クラブ(鈴木武雄会長)では毎

八月十九日に開かれたお誕生会に集まった老人クラブのみなさん

この短冊は、中台で俳句をたしなんでいる方がたが書いたもので、手渡された人は「誕生日のよい記念になります。また来年を楽しみに一年間健康ですごせるよう心掛けます」と話していました。



こんにちは

中台老人クラブ

この方がたが伊豆の熱海に俳諧の旅をした時の思い出の碑なのです。観音教寺を中心にした俳諧の集まりは、俳聖松尾芭蕉の流れを汲み(観音教寺の境内には芭蕉の高弟某の句碑が建っているというこ

る蕉風を引くみなさんは、沿道に見かける社寺の山門や鳥居にも、時には、簡素な祠のたぐすまいに、過ぎし日の、四国路や大垣観音参詣の事なども思い出され、筆はいっしか五七五の十七文字で句帳の頁を埋めつくしていたことと思



横芝町文化財審議会委員 小沢春光さん寄稿